



人を元気にするパワーが宿る筑後国一の宮「高良山」 ～高良山保存整備活用計画（福岡県久留米市）～

株式会社アーバンデザインコンサルタント 棚町修一・塚田和哉

高良山 (312 m) は福岡県久留米市に位置し、古代より神の坐す山として信仰され、人々の心の拠り所となってきた。計画では「人を元気にするパワーが宿る高良山」を基本理念とし、歴史的資源の保存・整備・活用とあわせ、宗教法人高良大社の経済的基盤の強化を目指し、2タイプのプロジェクトを提案した。一つは文化財の保存・修復や来訪者の安全性確保など公共性の高いものに取り組む「行政との連携によるプロジェクト」、もう一つは高良大社が中心となって地域と協力して自主的に取り組む「民間との連携によるプロジェクト」で、それぞれ10のプロジェクトを選定した。

作品概要

作品名：高良山保存整備活用計画～人を元気にするパワーが宿る高良山～
対象地：福岡県久留米市御井町 高良山
発注：宗教法人高良大社
事業目的：高良山の恵まれた自然環境、史跡環境および高良大社の宝物の調査、保存整備、活用を図り、地域活性化とともに高良大社の経営基盤強化の方策を立案するものである。
事業体制：調査段階、計画段階の2段階で業務を進め、宗教法人高良大社の用地と久留米市の史跡指定地が混在しており、高良大社、福岡県、久留米市、株式会社アーバンデザインコンサルタントの4社協議を重ね、計画のとりまとめを行った。
事業期間：平成18年6月～平成21年3月
事業規模：高良山全域

作品評

この作品は、高良山の自然環境と史跡、高良大社の宝物等を調査し、その資源の保存活用の方策により、地域活性化と大社の経営への貢献を図ることを目指した計画である。
“人を元気にする”、“地域の宝ものを大事に継承する”思想は多岐に亘るプロジェクトをジャンルごとに整理し体系化を図っている中にも明確に表現されており、地域の人々の心の拠り所となっている大社を中心とした計画の柱となっている。考え得る方策を、大社と行政との連携プロジェクト、大社と民間との連携プロジェクトに区分して立案しており、実現に向けて明確な方向性を示している。どのプロジェクトも高良山の資源を充分に活用し、魅力の掘り起こしのためのアイデアが豊富であること、プロジェクトごとにワンシートでまとめた構成は、イラストやスケッチを多用していいねいな説明がなされており、整備イメージや将来像が理解されやすいように工夫していることなどが高く評価された。
その一方で、今後の展開が多いに期待されるのに対し、プロジェクトを実現に移していく手法についての説明不足の点が惜しまれる。

